

第2回立命館白川静記念東洋文字文化賞

9月28日(金) 朱雀キャンパスにて「第2回立命館白川静記念東洋文字文化賞(略称立命館白川静賞)の表彰式が行われた。これは、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が、東洋文字文化の分野における有為な人材を奨励支援するために、功績のある個人および団体の業績を表彰することを目的としている。

まず昨年10月に逝去された白川静・立命館大学名誉教授に黙禱を捧げた後、川口清史研究所長(総長)より挨拶があり、「白川先生は、漢字文化圏の衰退による『東洋』の理念や東アジア文化の共有性崩壊を懸念されておられた。東洋文字文化の復興は気宇壮大なものだが、先生のご遺志を受け継ぎ、研究所も着実に業績を作っていく」と述べた。

白川名誉教授ご遺族・津崎史様からは「子どもへの早期からの漢字教育や広く東洋の文字文化の研究が地道に続けられてきたこと、また研究所の活動の広がり、父も喜んでいと思う」と述べられた。

受賞者は以下の通り

日本漢字教育振興協会 代表者 理事長 土屋秀宇
対象業績 幼児・児童への漢字教育活動



エヴゲーニイ・イヴァーノヴィチ・クチャーノフ

Евгений Иванович Кычанов

ロシア科学アカデミー東方学研究所

荒川慎太郎 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授
対象業績 『タングート(西夏)語辞典』

СЛОВАРЬ ТАНГУТСКОГО (СИ СЯ) ЯЗЫКА;

Тангутско-русско-англо-китайский словарь

